

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2071100222		
法人名	特定非営利活動法人明日のシニア社会を考える会		
事業所名	ヒューマンヘリテージ安源寺		
所在地	長野県中野市安源寺字北原975番地1		
自己評価作成日	令和 7年 11月 30日	評価結果市町村受理日	令和 8年 2月 13日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="https://www.kaisokensaku.mhlw.go.jp/20/index.php?2action_kouhyou_detail_022_kanistrue&amp;JiyosyoCd=2071100222-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kaisokensaku.mhlw.go.jp/20/index.php?2action_kouhyou_detail_022_kanistrue&amp;JiyosyoCd=2071100222-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	一般社団法人 ピュア		
所在地	長野県佐久市三河田71-1		
訪問調査日	令和 7年 12月 10日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

中野市特産のブドウ、りんご畑に囲まれた自然豊かな環境にあるホームです。また、職員の中には看護師もあり常に利用者様の健康状態の観察、相談に努め、利用者様・ご家族様が安心して暮らせる環境作りにも配慮しています。利用者様の思い、意向を考え、寂しさや不安から解放できるように対応したいと職員は常に思い支援しています。家庭的な落ち着いた雰囲気の中で安心して笑顔で生活が送れるように努めています。今までの築いてきた関係性は大切に、より広く良い繋がりが持てるように努力しています。感染対策をしながら、行事の参加や地域の中学生等との交流を行っています。昨年3ユニットを増築しましたが、職員が一丸となり意見を出し合い、利用者様一人一人のケアに携わっています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

上信越自動車道信州中野ICから志賀高原へと繋がる国道292号線沿いの中野市西部地区、周りを特産の果樹や閑静な住宅街に囲まれたゆったりとした雰囲気の中に当ホームがある。令和6年4月に、長野県内では稀な3ユニットの認知症高齢者のグループホームとして増設オープンした。社会全体が大きく変わりつつある現在、介護の業界でも新たな価値を生み出し、社会に大きな変化をもたらしたいという思いを込めた新しい理念「今、行っている行為(サービス)、またこれから行おうとする行為が、固定観念に囚われていないか?もっと、良い方法があるのではないかと常に考え、問題意識を持って行動すること」を定め、「インベーションケア」として法人全体で統一したケアを実践している。その理念を全職員が共有し、やさしく寄り添い、いつも新鮮な気持ちを持ち、ブレることのない日々の支援に取り組んでいる。開設以来、高齢者が認知症になり要介護度が重くなくても、できる限り住み慣れた地域で生活ができるようにという地域密着型サービスの主旨を一貫して貫いており、月1回地区の公民館で行われるオレンジカフェの運営に協力し、ホームの利用者も参加し、同じ公民館で行われる子ども食堂の活動にも職員が携わっている。また、中野市が推進している、支え合う地域づくりを目指し地域のみんなで話し合い活動するという「なかのなつゆ隊」にも代表者を始めとした職員が関わり地域の活性化に繋げている。更に、認知症高齢者グループホームの開設を予定する他の法人からの実習生や認知症サポーター養成講座の受講生、中学生のSDGsの一環としての職場体験などの受け入れも行っている。市との関係も密接で市が主催する「介護支援専門員連絡会」や「医療福祉事例検討会」、地域の基幹病院主催の「医療と介護・福祉の交流会」など、それぞれの会議に職員が数名参加し、情報交換や研修を受け、職員全体会議で伝えている。加えて、管理者を中心に職員が認知症サポーター養成講座の講師として参画し、市内の小中学校で認知症に関する正しい知識や理解の普及にも努めている。当ホームでは市の民生委員の見学の受け入れを行ったり、市の要請で緊急避難を要する高齢者の居場所としての宿泊用の部屋も新しいユニットに設けている。認知症高齢者のグループホームは、認知症高齢者が尊厳を保ちながら、その人らしく生活できる場所としてますます重要な役割を担って行くものと思われ、当ホームではサービスの質の向上、人材の確保と育成、地域社会との連携強化などに果敢に取り組んでいる。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができて (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			